

ディスクロージャー誌2022（上半期）

J A 上伊那の現況

令和4年度：上半期事業（3～8月）

この冊子は、JA上伊那の令和4年度上半期の事業概要をお知らせする資料です。

* 資料をご希望の方は窓口へお申し出ください。

令和4年10月

上伊那農業協同組合

上半期の事業概要

平素より、J A上伊那の事業につきまして深いご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。本年度上半期のJ A上伊那の現況について報告いたします。

上半期は、凍霜害や台風等の被害も少なく、農産物の生育は概ね順調に推移し、農産物販売高は44億3,605万円となりました。信用事業は、地域の皆さまからお預かりしている貯金額が3,071億7,724万円となり、貸出金は農業資金のニーズにあわせた商品の提供、J A住宅ローンやJ Aネットローンにより767億7,879万円のご利用をいただき堅調に伸長しております。販売・購買・共済事業も引き続き多くの皆さまにご利用いただき、一部事業において計画未達なものの、事業全体は概ね計画通りの実績となり、組合員・利用者の皆さまの事業へのご理解・ご利用の賜物と深く感謝申し上げます。

農業を取り巻く情勢につきましては、農業者の減少や高齢化等により農業生産基盤の弱体化に歯止めがきかない状況が続いており、食料自給率も過去最低の水準となっております。さらにウクライナ情勢や世界的なインフレにより各国中央銀行が金融引き締め政策を行っており、歴史的な円安が進行し燃料、肥料、飼料等の農業資材価格が高騰し農業経営により一層の負担となっております。このような中、食料安全保障の必要性が見直されつつありますが、販売価格を生産者が決めることが出来ず、生産コストに見合った販売価格の形成が出来ていません。消費者が商品の価値や生産者の努力を理解して、高値でも購入してもらえ社会環境を醸成していくために国や行政、各種関係団体と連携し農業の価値を高める活動に積極的に取り組み、消費者＝ファンを増やす必要があります。

本年度は、「農業所得増大へのさらなる挑戦」、「不断の自己改革による組織・経営基盤の確立」という基本目標を掲げた新たな「長期構想・3ヵ年計画（2022-2024）」の初年度となります。各施策を役職員が一丸となり実行するとともに、総合事業の強みを発揮した事業運営に取り組んでまいります。またこれら各施策の実行がSDG s 達成への貢献にもつながっていくと確信しております。

今後もJ A上伊那が組合員・利用者の皆さまの期待に応え、10年後、20年後も地域になくてはならないJ Aの実現をめざして努力してまいりますので、なお一層のご理解・ご利用をお願い申し上げます。

令和4年10月

代表理事組合長 西村 篤

I 地域貢献に関する取り組み

1. 全般に関する事項

当組合は、伊那市、駒ヶ根市、辰野町、箕輪町、飯島町、南箕輪村、中川村、宮田村を事業区域として、農業者を中心とした地域住民の方々が組合員となって、相互扶助（お互いに助け合い、お互いに発展していくこと）を共通の理念として運営される協同組織であり、地域農業の活性化に資する組織です。

当組合の資金は、その大半が組合員の皆さまなどからお預かりした、大切な財産である「貯金」を源泉としております。当組合では資金を必要とする組合員の皆さまや、地方公共団体などにもご利用いただいております。

当組合は、地域の一員として、農業の発展と健康で豊かな地域社会の実現に向けて、事業活動を展開しています。

また、JAの事業活動を通じて各種金融機能・サービス等を提供するだけでなく、地域の協同組合として、農業や助け合いを通じた社会貢献に努めています。

2. 地域からの資金調達の状況

地域の皆さまからお預かりした貯金・積金の残高は、8月末において3,071億7,724万円となっております。当組合では、信州各地の温泉施設等で何度でもサービスが受けられる「湯遊定期積金」、58歳以上65歳以下限定の金利上乘せ定期貯金「虎の子」など県下統一商品のほか、食と農の応援積立「JINOMON～地のもん～」、「虹のかけ橋（特典付きグレース会員）」積立式定期貯金などのJA上伊那オリジナル商品を取り扱い、顧客満足度向上に取り組んでおります。

3. 地域への資金供給の状況

地域の皆さまへの貸出金の残高は、8月末において767億7,879万円となっております。この内訳は、組合員等への資金供給661億5,056万円、地方公共団体77億8,509万円、その他28億4,314万円です。

地域農業者等の資金ニーズに合せ、農業施設の建設、農業機械の購入資金に対応する農業近代化資金などの制度資金や農業経営の安定を目的とした農業運転資金等、農業経営の向上のために幅広い資金対応を行っております。また、生活資金においては、JA住宅ローン「住宅王」などを用意し、地域住民の皆さまの生活の向上に貢献できるよう努めております。

4. 文化的・社会的貢献に関する事項

地域文化との係わりとして、地域行事への参画、学校給食への地元農産物の提供に係る支援、農業体験教室、各種農業関連イベントなどの開催等、農業を通じた地域との交流を積極的に行っておりますが、本年度も新型コロナウイルス感染症の影響により多くのイベントが中止となりました。

今後も引き続き、地域の皆さまに貢献できるよう広報誌やSNS等を通じた情報提供に心がけ、より一層の地域貢献ができるよう努めてまいります。

5. 農業振興活動

(1) 農業者等の経営支援に関する取り組み

- ・生産規模拡大や生産性向上に取り組む生産者に対し、施設や機械の導入にかかる費用の助成を行うことにより、その取り組みを後押しし農業所得の増大につなげることを目的とした農業生産拡大支援事業「未来Aサポート」に取り組んでいます。
- ・意欲ある地域農業の担い手及び農業に新たに参入する人が、管内の農業者として独立し、効率的、安定的な農業経営ができることを目的とし、市町村等と協力して「農業インターン制度」に取り組んでいます。

(2) 農山漁村等地域活性化のための融資をはじめとする支援への取り組み

- ・多様な担い手の経営安定・向上に資する農業メインバンク機能を発揮するため、地域農業のメインバンク機能強化に取り組んでいます。管内12支所を拠点に、融資担当者が農業者等を訪問する「出向く体制」を強化し、担い手農業者の資金ニーズ、経営相談対応等を通じた関係性強化に努めています。
- ・担い手農業者の多様化するニーズに対応できる人材確保及び農業融資に精通した人材育成に向け、日本政策金融公庫農林水産事業の実施する「農業経営アドバイザー」及び農林中央金庫の実施する「JAバンク農業金融プランナー」の資格取得に取り組んでおります。令和4年8月末現在の累計資格取得者は、農業経営アドバイザー20名、農業金融プランナー68名となっております。

(3) 担い手の経営のライフステージに応じた支援への取り組み

- ・新規就農者の経営と生活を支援するため、各種就農支援資金を取り扱っています。
- ・農業者からの資金ニーズに対応するため、各種農業資金をご用意しております。長野県JAバンクが取り扱う農業経営に必要な運転資金の利便性確保を目的とした商品「農業経営ローン（ゆたか）」、農業者の生活資金を支援することを目的とした商品「ワイドカードローン（みどり）」のほか、農業振興に資するための資金として当組合独自の「豊年満作」を取り扱い、利用拡大に取り組んでいます。

(4) 経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、担い手に適した資金供給手法の取り組み

- ・農業経営の安定化、効率化をはかる目的の農業金融強化策として、「JAバンク保証料助成事業」、「JAバンク利子補給制度」を実施して、農業者・農業経営体に対する借入負担の軽減をはかることで農業経営をバックアップし、成長に向けた支援策に取り組んでいます。

II 財務状況や事業に関する開示項目

(表中の表示単位未満の端数は切り捨てておりますので合計金額に差が生じる場合があります。)

1 金融再生法開示債権 (単体)

(単位: 百万円)

債権区分	令和4年2月末	令和4年8月末	増減
破産更生債権およびこれらに準ずる債権	214	189	▲ 25
危険債権	686	608	▲ 78
要管理債権	33	-	▲ 33
正常債権	75,147	76,045	898
合計	76,082	76,843	761

2 単体自己資本比率 (国内基準適用)

(単位: %)

令和4年2月末	令和4年8月末
16.62	16.30

単体自己資本比率はBIS規制の基準に基づき算出しています。なお、8月末の単体自己資本比率の算出にあたって、令和4年2月末のオペレーショナル・リスク相当額を使用しております。

3 主要勘定の状況

(1) 信用事業

・信用事業取扱実績

(単位: 百万円)

	令和3年8月末	令和4年2月末	令和4年8月末
貯金	299,378	302,634	307,177
貸出金	75,076	76,024	76,778
預金	218,421	222,895	224,583
有価証券	4,776	4,880	4,878

・有価証券時価情報

(単位: 百万円)

種類	令和4年2月末			令和4年8月末		
	取得価額	時価	評価損益	取得価額	時価	評価損益
売買目的	-	-	-	-	-	-
満期保有目的	-	-	-	-	-	-
その他	4,705	4,880	175	4,804	4,878	74
合計	4,705	4,880	175	4,804	4,878	74

1 令和4年8月末の有価証券の時価は8月末日における市場価格等に基づく時価としています。

2 取得価額は償却原価法適用前、減損処理前のものです。

(2) 共済事業

	令和3年8月末	令和4年2月末	令和4年8月末
長期基盤合計 (万ポイント)	285	470	273
自動車 (万ポイント)	663	1,137	640
保有契約 (万円)	97,705,960	95,718,862	94,007,750

(3) 販売事業

・農畜産物販売高 (単位：千円)

	令和3年8月末	令和4年2月末	令和4年8月末
米 穀	536,357	3,223,038	495,712
果 実	89,401	887,879	89,043
野 菜	985,873	1,857,637	1,027,192
き の こ	776,175	2,142,435	744,001
花 卉	628,548	1,472,085	725,515
畜 産	820,356	1,682,524	855,108
そ の 他	479,710	1,174,847	499,484
合 計	4,316,424	12,440,450	4,436,059

(4) 購買事業

・購買品取扱高 (単位：千円)

	令和3年8月末	令和4年2月末	令和4年8月末
営 農 資 材	2,413,600	3,980,295	2,397,608
農 業 機 械	640,193	1,008,420	575,047
直 売 店 舗	295,828	661,113	317,814
生活エネルギー	1,509,087	3,506,009	1,625,069
合 計	4,858,709	9,155,839	4,915,539